

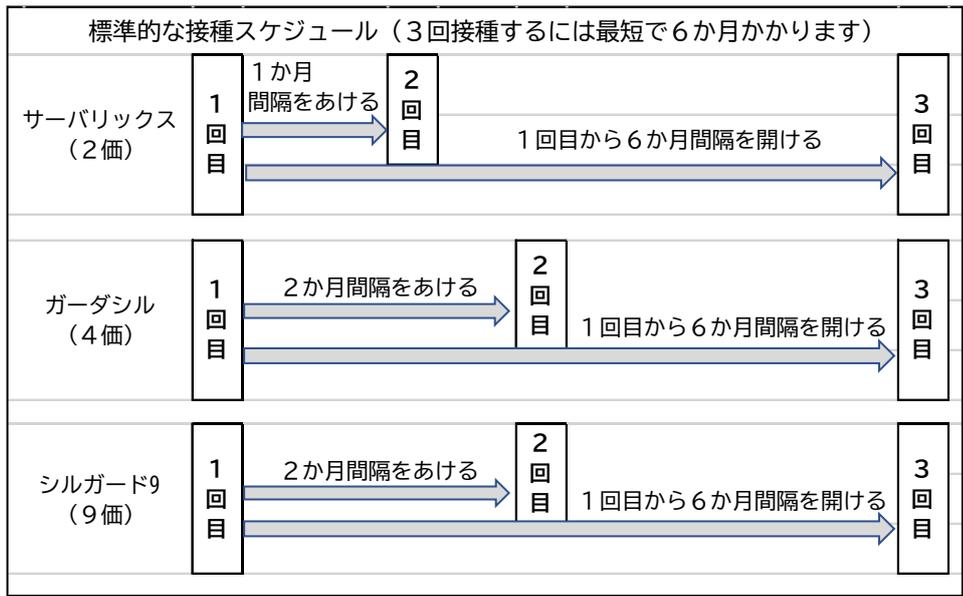
子宮頸がん予防ワクチンの定期予防接種について

斜里町では、国の勸奨をもと女性の健康を守るために子宮頸がん予防ワクチン（以下「HPV※ワクチン」）を実施します。

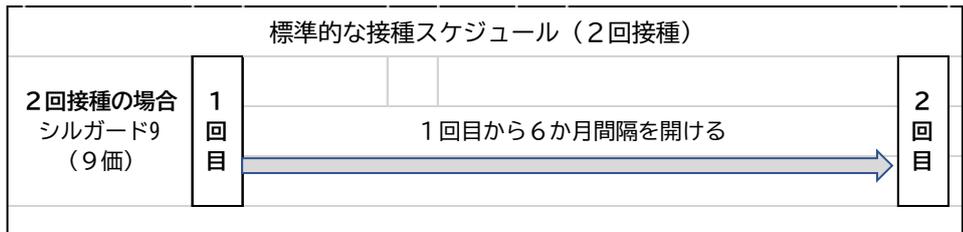
※「ヒトパピローマウイルス」のこと

◎令和5年4月から9価のHPVワクチンも定期接種となりました。詳しくは同封のリーフレットをご覧ください。

- 1 対象者 小学校6年生（標準は中学校1年生）から高校1年生（相当）の女子
- 2 接種費用 無料
- 3 接種期間 高校1年生（相当）になる年度の3月31日まで
- 4 接種方法 HPV ワクチンには、サーバリックス（2価）、ガーダシル（4価）、シルガード（9価）の3種類があり、同じワクチンで3回接種を受けます（筋肉注射）。



※15歳未満の方は、シルガード（9価）で2回接種も可能です。



※新型コロナウイルスワクチンとHPVワクチンとの接種間隔は、前後13日以上が必要です。接種した日の2週間後と同じ曜日から接種できます。

裏面もご覧ください

5 接種場所

	斜里国保病院（産婦人科外来）	水柿内科医院
接種日時 （診療日）	広報しゃり または 斜里国保病院ホームページで ご確認ください	月曜日～金曜日（祝日は休み） （午前）9時～11時30分 （午後）13時30分～16時30分 ※金曜日午後は16時まで
予約の有無	予約が必要	予約が必要
電話番号	23-2102	23-5275
持ち物	母子健康手帳、健康保険証、同封した予診票	

8 HPVワクチンの副反応について

HPV ワクチン接種後には、多くの方に、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれに、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こることがあります。

ワクチン名	サーバリックス（2価）	ガーダシル（4価）	シルガード9（9価）
製造販売元	グラクソ・スミスクライン 株式会社	MDS 株式会社	MDS 株式会社
副 反 応 の 発 生 頻 度	50%以上	疼痛・発赤・腫脹、疲労感	疼痛
	10～50%	掻痒、胃腸症状、筋痛・関 節痛、頭痛等	腫脹、紅斑
	1～10%	じんましん、めまい、発熱 等	掻痒、頭痛、発熱
	1%未満	注射部位の知覚異常、感覚 鈍麻、全身脱力	めまい、腹痛・下痢、硬結 四肢痛等
	頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症	疲労・倦怠感、失神、リンパ節 症、筋肉痛、関節痛、嘔吐等

8 予防接種被害救済制度

対象の期間に接種を受けて、重篤な健康被害が発生し認定された場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。

9 検診について

20歳になったらワクチンを接種している・していないにかかわらず、子宮頸がんを早期発見するために、子宮頸がん検診を定期的（2年に1回）に受けることが重要です。

斜里町のホームページに、HPV ワクチンに関する詳細な情報や、厚生労働省が作成したリーフレット等を掲載していますので、あわせてご覧ください。同封のリーフレットのQRコードで読み取れます。

【お問合せ先】斜里町保健福祉センター ぽると21 健康子育て課健康支援係 ☎22-2500